

墨田区議会
自由民主党だより
Liberal Democratic Party October 2011

発行
墨田区議会自由民主党
 墨田区吾妻橋1-23-20
 発行責任者 西原文隆
<http://www.city.sumida.lg.jp/>
 ご意見・ご要望をお待ちしております。

防災対策に全力投球！

自民党の防災政策

墨田区議会自由民主党では、東日本大震災を受けて墨田区の防災の根本的見直しを進めています。震災対策・液状化対策はもちろん、近年多くなってきたゲリラ豪雨に対処するための水害対策も喫緊の課題です。現在行政で改訂を進めている墨田区地域防災計画については、速やかに議会に提出し、審議を経るよう求められています。

われわれは区民の皆様様の生命・財産を守るため、全力を傾注してまいります。



▲建物内に残された住民の救出を想定した訓練



▲墨田中学校で行われた訓練の様子

9月25日、墨田5丁目運動広場にて、平成23年度墨田区総合防災訓練が行われました。東日本大震災から得られた教訓を反映させ、帰宅困難者対策や各世代間の連携等、新たな視点を盛り込んだ訓練となりました。我々墨田区議会自民党は、本会場での各関係機関の連携訓練の参観だけでなく、鐘淵中学校と白鬚東公園での展示を見学したり訓練に参加し、防災についての知識を深めました。区民の皆様様の安心・安全のために全力で防災対策に取り組んでいくことをあらためて約束します。

墨田区総合防災訓練が実施されました！



▲人と防災未来センターにて



▲仮設住宅を視察

▲津波の大きさを物語る

東北・神戸を視察しました！

8月16日・17日に、東日本大震災の被災地である仙台市で会派視察を行いました。仙台市役所で震災発生時の仙台市の対応や、復興に向けての対策等について防災担当部署から話を聞いた後、公園に設置された仮設住宅と、特に津波の被害が大きかった若林区荒浜地区の様子を視察しました。

神戸視察報告

7月20日から22日まで、神戸市・宝塚市で会派視察を行いました。神戸市の「人と防災未来センター」では、震災から復興までの神戸市の取り組み、液状化対策やまの耐震化についての説明をしっかりと受けました。また、宝塚市では議会改革について、神戸市で廃校を利用した観光対策について調査しました。

NEWS

出羽邦夫議員、東京都功労者表彰受賞

出羽邦夫議員が永年にわたる墨田区議会での活躍により、地域活動功労者により、東京都功労者表彰を受賞しました。

10月20日から11月2日まで平成22年度墨田区決算特別委員会が開会されています。我が会派からは決算特別委員会委員長として山本亨、委員として西原文隆、坂下修、田中邦友、福田はるみ、佐藤篤の各委員が審議を行っています。

山本 亨 決算特別委員長

出羽 邦夫 議員

決算特別委員会が開会されています。

行動します！ We Take ACTION!!

すみだ自民党 議員紹介

墨田区議会自由民主党の所属議員です。新しい時代のすみだづくりに全力投球します。

<p>● 墨田区議会議長 ● 産業都市委員会委員 ● 都市開発・災害対策特別委員会委員</p> <p>墨田5-33-4 3611-4003</p> <p>瀧澤 良仁</p>	<p>● 新タワ-観光対策特別委員会委員長 ● 福祉保健委員会委員</p> <p>向島3-18-10 3625-1810</p> <p>坂下 修</p>
<p>● 議会運営委員会委員長 ● 企画総務委員会委員 ● 新タワ-観光対策特別委員会委員</p> <p>押上1-25-5 3622-9570</p> <p>西原 文隆</p>	<p>● 企画総務委員会委員長 ● 行財政改革等特別委員会委員</p> <p>八広4-11-19 3616-5834</p> <p>出羽 邦夫</p>
<p>● 区民文教委員会委員 ● 都市開発・災害対策特別委員会委員</p> <p>八広1-39-17 3616-7014</p> <p>田中 邦友</p>	<p>● 墨田区議会副議長 ● 企画総務委員会委員 ● 行財政改革等特別委員会委員</p> <p>江東橋1-8-7 3631-1934</p> <p>林 恒雄</p>
<p>● 区民文教委員会委員 ● 都市開発・災害対策特別委員会委員</p> <p>八広3-6-3 3617-4129</p> <p>樋口 敏郎</p>	<p>● 福祉保健委員会副委員長 ● 新タワ-観光対策特別委員会委員 ● 議会運営委員会委員</p> <p>業平4-5-16 3625-8139</p> <p>福田はるみ</p>
<p>● 区民文教委員会委員 ● 都市開発・災害対策特別委員会委員</p> <p>堤通1-5-9 3611-0740</p> <p>中沢 えみり</p>	<p>● 産業都市委員会委員 ● 行財政改革等特別委員会委員</p> <p>京島3-18-4 3610-0973</p> <p>佐藤 篤</p>

墨田区議会自由民主党 <http://jimin-sumida.jp/>
 お気軽にご意見をお寄せください。

第3回定例会が開かれました!

平成23年9月9日～9月30日

区政トピックス



▲委員会で質問をする瀧澤良仁議員(左)と、西原文隆議員

浸水対策について区内視察を行いました。

8月25日に、東京都下水道局による墨田区墨田から足立区千住地区の浸水対策用の雨水収容下水道管である隅田川幹線工事の現場を視察しました。

近年、都市化により雨水流出量が増え、集中豪雨などで浸水被害が発生しています。隅田川幹線の完成により、近隣ポンプ所等の再構築が可能になり、道路陥没の抑制、浸水被害の軽減が図れます。墨田区内では同様の工事を八広幹線で実行しています。



区内循環バスが運行されます

区では来春、区内3ルートの循環バスを導入します(図参照)。

区民の皆様の交通利便性向上と観光客の街歩き観光が主たる目的で、京成バス株式会社が運行します。

3ルートとも朝7時から午後9時までの間、15分間隔で運行し、大人(中学生以上)100円、子ども(小学生)50円、乳幼児(未就学児)・障害者の皆様は無料です。バス停の詳細な位置につきましては現在検討中です。

ぜひご利用いただくとともに、区内を訪れるご親戚・ご友人の方にもお知らせください。

基本計画が改訂されます

9月28日、全員協議会が開かれ、区長側から墨田区基本計画改訂についての説明があり、議員と意見交換しました。

今年度は平成18年から10年間の墨田区基本計画の中間年にあたり、前期5年間の施策の達成状況や人口が計画よりも早く25万人を超えたことなどを踏まえて、基本計画の改訂を行ないます。

墨田区基本構想の実現に向けて計画を先導する、安全安心のまちづくり、「国際観光都市すみだ」にむけて、子育て支援・高齢者福祉の3つのリーディングプロジェクトが新たに設定されました。

大学誘致に引き続きとりくみます

区では旧西吾嬭小学校・旧曳舟中学校跡地へ大学を誘致してきましたが、今回の公募では決定に至りませんでした。

この間、選定審査会を設置し、学識経験者や住民代表から構成される委員で審査を重ねてきましたが、大変残念な結果となりました。

区では「大学は若者を呼び込み、地域経済・産業の活性化等が期待できることから、この度の公募方法等について十分に検証し、しかるべき時期に再度、大学誘致を行いたい」と表明しており、墨田区議会自由民主党では、区の意向を尊重し、墨田区の発展のために全力を尽くしてまいりたいと考えております。



福田はるみ議員

代表質問

9月9日の本会議で、会派を代表して福田はるみ議員が代表質問を行いました。今後の課題について深く区長、教育長に質問しました。



中沢えみり議員

一般質問

教育、観光施策等について、中沢えみり議員が区長及び教育長に質問しました。

1、財政運営及び基本計画の改訂について

(問)平成23年度都区財政調整算定結果の分析、及び今年度の財政運営への影響について所見を伺う。

(答)今回の当初算定においては、再調整において確保できることとなるが、引き続き、特別区税あるいは国や都の補助金をはじめとした歳入の確保に努めるとともに、区民生活に支障を生じることのないよう、配慮していきたいと考えています。

(問)現在墨田区はタワー開業前後の様々な計画が進められている状況の中、まちづくり交付金を引き続き確保出来る見通し・北斎美術館の建設等、タワー関連事業は予定通りに進められるのか伺う。基本計画の改訂作業の進捗状況・引き続き円滑な財政運営を行うため、なお層の行政改革をどのように推進していくのか伺う。

(答)まちづくり交付金は平成24年度までの交付期間を2年延長する見込みとなつた。現在、整備計画変更手続きを進めていて、すみだ北斎美術館には平成25年度着工、27年度早期開設の予定である。基本計画改訂作業は後年度の財政負担にも十分配慮しつつ、起債や基金の活用、さらには行政改革の更なる推進によって、計画事業に充てる財源を生み出していきたい。また新しい行政改革実施計画を策定すべく、さらなる見直しを行ってきたいと考えている。

2、墨田区の交通問題について

(問)東武伊勢崎線押上方面踏切の解消については不本意であるが、本区が事業主体に手を挙げ、リーダーシップを図り、周りの協力を得るよう進めていくか。促進につながる方法は無いのか。

(答)東武伊勢崎線踏切の解消については、地域住民の長年の悲願でもあり、新タワー建設に伴い早急に改善する必要がある。当該事業については、足立区の竹ノ塚踏切と同様に、区が事業主体として事業の実施に踏み切るべきでないのかと考へて、可能な限り区民の負担軽減を図られるよう、東武鉄道には引き続き、精力的に働きかけていく。大規模踏切の解消は、歩行困難な箇所が増え、人出の多い交差点の調査・安全検証を行い、その対策を立てて頂きたい。その他に柳島小学校付近に、タワーの観光バス駐車場建設が予定されているが、安全対策については配慮等、具体的な方法はお考えか。

(答)本区の交通問題については、常に安全面の検証を行い、区民や来街客に安全に通行できる環境を整備していく。横川五丁目に設置する東京スカイツリー場外駐車場については、通学時間帯及び夜間を除く利用し、交通安全対策に万全を期すように申し入れをしていく。

3、防災計画の見直しについて

(問)防災計画において、この震災後の今だから出来る防災計画の見直し緊急、最重要課題と考へる。区内の保育園の耐震化の予定、保育施設、団地や集合住宅も含めどの様に進んでいくのか。またツイスターからの災害情報発信について連携はあるのか。子供用防災ヘルメットを児童の身を守るために学校の備品として市内小学校の各教室設置を希望するが、いかがお考えか。

(答)より実効性のある地域防災計画とするため、東日本大震災を踏まえた修正に向けて、鋭意見直し作業を行っているところである。区立保育園の耐震化工事については、順次実施して、平成27年度までには耐震化を完了する予定としている。保育園等には今回の震災を踏まえ、備蓄などの防災対策を講じている。団地や集合住宅では、中層階等の備蓄倉庫の設置、フロアごとの責任の分担を中心とした防災訓練の実施、地味を中心とした防災訓練の実施、地元町会・自治会との連携の強化等について、地域防災活動拠点会議等を通じてお話ししている。

現在、公式ツイッターの開設に向けて具体的な検討を進めていて、本年12月を目途に運用を開始予定としている。子供用の防災ヘルメットの学校備品としての設置については、直ちに、各学校で常備するところ考へはないが、引き続き、より良い学校防災対策について検討する。なお、防災頭巾の不燃性能については保護者等に不燃素材とするよう周知徹底している。

(問)今年初の大雪から雪のかたまりが落ちてその問題になったが、タワー開業後も区民が安心・安全に暮らしていけるような配慮をどの様に考へるか。

(答)事業者によれば、展望台外壁部

観光施策について

1 「国際」観光都市すみにだについて

2 観光振興施策の提案

1 「国際」観光都市すみにだについて

2 観光振興施策の提案

(問)私立幼稚園の現状は、定員数を上回る園児を受け入れざるを得ないケースも出て来ている。「子育て支援」として、保育園と目様に幼稚園児に対しても目を向けてほしい。今後の墨田区の幼児教育の方向性を伺う。

(答)私立の事業者が果たしている役割はきわめて大きく、質の高い教育を提供しようとしていることは十分承知している。幼児教育は人間形成にとってきわめて重要であるため今後の幼児を取り巻く環境の変化に合わせて、更なる充実にも努めていきたい。

(問)本区は区民の皆様がすみのだの文化芸術に誇りと愛着を持ち、その魅力を発信することにより、まちの賑わいと産業、観光面における活性化につながられるよう文化振興及び観光振興を考へているため、国際美術展の開催はその趣旨と合致するものであり、まちの活性化を図る面でも大変効果の高い取り組みであると受け止めている。現在区では懇談会を設置し、文化芸術施策の方向性について検討しているため、是非、審議の参考にさせていただきたい。

教育施策について

1 防災対策における「防災教育」の今後墨田区の幼児教育について

2 幼保小の連携について

(問)保育園、幼稚園は就学前教育の一貫であり、小学校の学校生活にスムーズに移行するために、幼保小の連携が必要である。幼児期は「実体験」が重要である。5歳児に向けた墨田区独自の「情操教育プログラム」の策定を提案する。

(答)本区では子育て支援担当と教育委員会が共同で就学前教育推進プロジェクトを立ち上げた。その中で課題として、5歳児情操教育プログラムを取り上げて行きたい。

(問)墨田区をより効果的に世界へアピールするために、国際美術展、ピエンナレ、トリエンナーレの開催を提案する。